

2020年度東京大学大学院
教育学研究科 大学院説明会

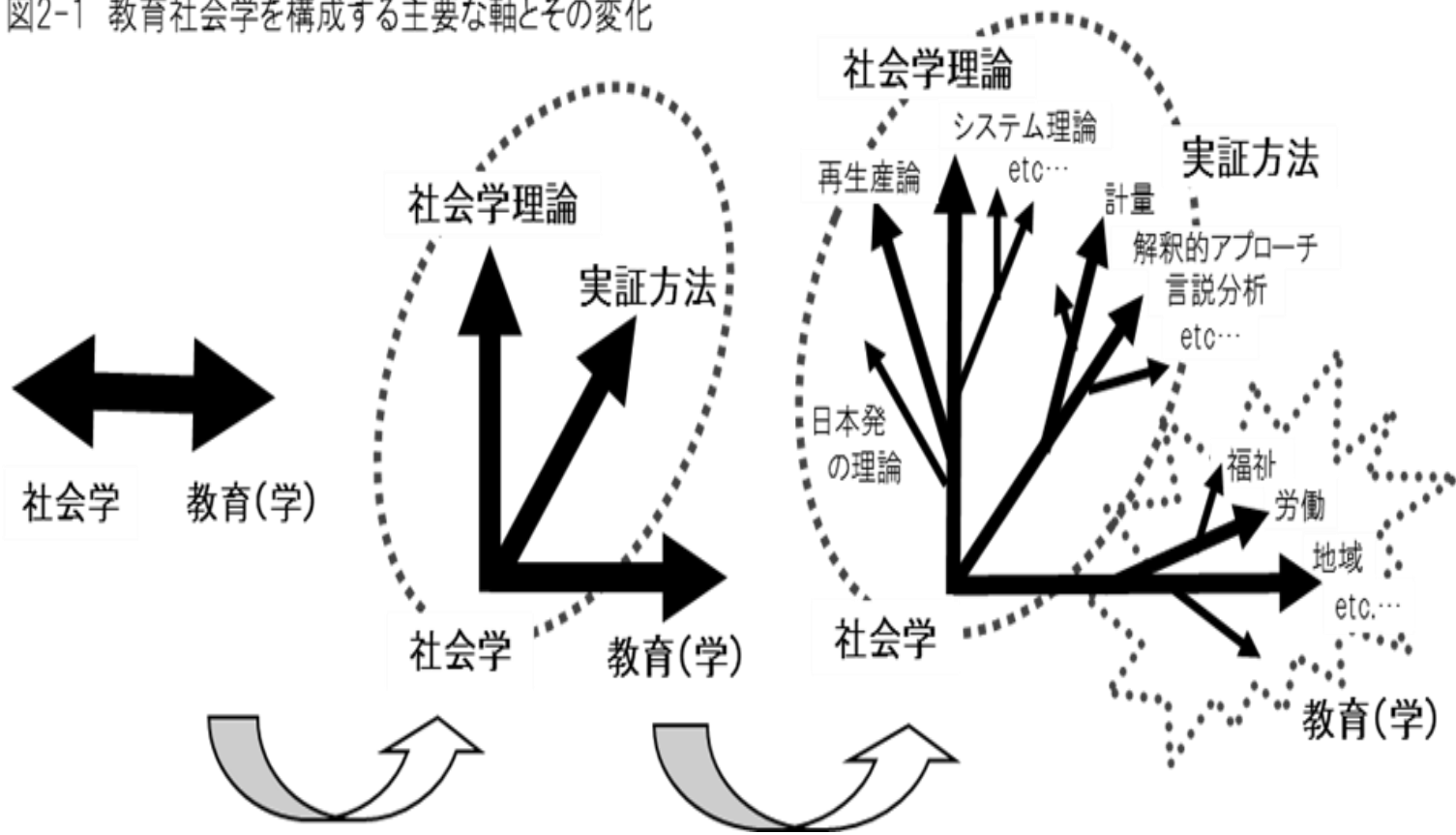
比較教育社会学 コース

2020.5

教育 社会 文化 を見る

- 比較教育社会学コースでは、社会学を中心とする社会科学全般のディシプリンに基づいて、「社会現象、文化現象としての教育」を、国際比較や異文化理解を含めた多角的な視点から、総合的に考察できる学生の育成をめざしています
- (<http://www.p.u-tokyo.ac.jp/gs/c2>より)

図2-1 教育社会学を構成する主要な軸とその変化



本田由紀・齋藤崇徳・堤孝晃・加藤真「日本の教育社会学の方法・教育・アイデンティティ—制度的分析の試み—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』52巻(2013年3月)

教育社会学とは |

多様なテーマ・方法論、 顔の見える関係と指導

- それぞれの教員のテーマはバラエティに富んでいます。
- 方法論的にも量的研究、質的研究、ミックスドメソッド、歴史研究、理論研究と多様です。
- 各教員が独自のゼミ指導と個別指導を行ないます。その他に修士論文全体指導会が年2回、博士論文全体指導会が年1回あります。
- 教員と大学院生の上に、オープンで活気ある指導と交流の関係が形成されています。
- 「専門社会調査士」という資格（終身）が取れます。

コース・スタッフ

- 恒吉 僚子（つねよしりょうこ） 【比較教育学】
 - 本田 由紀（ほんだゆき） 【教育社会学】
 - 橋本 鉦市（はしもとこういち） 【高等教育論】
 - 中村 高康（なかむらたかやす） 【比較教育システム論】
 - 仁平 典宏（にへいのりひろ） 【教育社会学】
 - 額賀 美紗子（ぬかがみさこ） 【比較教育学】
-
- 社会科学研究所・佐藤香教授、三輪哲教授、及びバリアフリー教育開発センターの星加良司准教授の指導を受けることもできます

Policy-Making Process of Higher Education
高等教育の政策過程

アクター・イシュー・プロセス



Kazuki Washimoto
橋本 鑑市

玉川大学出版部

若者と仕事
「学校経由の就職」を超えて | 本田山紀 一編



東京大学出版会

「若者雇込談コンテンツ」

恒吉 僚子



子どもたちの
三つの「危機」
国際比較から見る日本の模索

恒吉 僚子

「若者雇込談コンテンツ」



中村高康
暴走する
能力主義
教育と現代社会の病理

CHIKUMA SHINSHO

一字野郎愛知は教育システムが育成しようとしている「能力」の理念を背後的に表現している。しかし、その「能力」が「強い能力」であることを標榜しながら、実は無能なものの存在を暗示している。『若い世代』とは、これが後進時代という時代を生じる能力論議の病的特徴なのである。

ちくま新書
1337

多彩な
研究

ポランティアの
誕生と終焉

倫理のパラドクスの知識社会学 仁平 典宏 著



ちくま新書
1337



越境する日本人家族
と教育
「グローバル型能力」
育成の経緯

顔留美紗子

Identity

政学書房

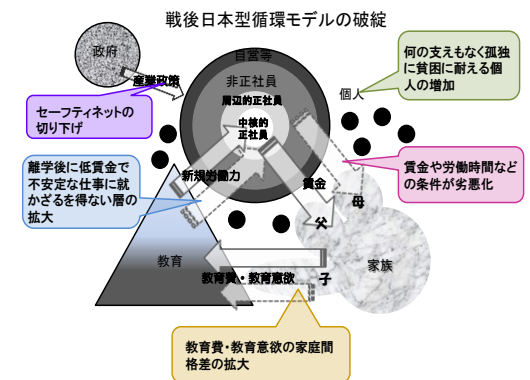
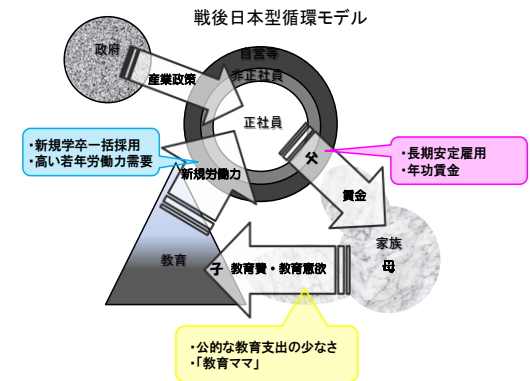
Globalization

恒吉僚子

- **研究分野**：教育の国際比較研究、多文化教育、比較教育学、社会学。
- **これまで**：プリンストン大学大学院社会学研究科、Ph.D.、東京大学教育学部附属中等教育校・学校長
- **学部担当講義**： 比較教育学概論
- **大学院担当講義**： 質的方法論研究Ⅰ
- **主著**：*Tokkatsu: The Japanese Educational Model of Holistic Education* (co-edited), World Scientific, *Minorities and Multiculturalism in Japanese Education: An Interactive Approach* (co-edited), Routledge；『子ども達の三つの「危機」ー国際比較から見る日本の模索』勁草書房；*The Japanese Pattern of Schooling: Comparisons with the United States*, RoutledgeFalmer；『教育研究のメソドロジー』（秋田・恒吉・佐藤）東京大学出版協会；『人間形成の日米比較ーかくれたカリキュラム』中央公論社等。
- **現在のプロジェクト**：<https://ryokotsuneyoshi.jimdosite.com/>からご覧ください。

本田由紀

- **研究分野**：教育と仕事の関係（若年労働市場、教育内容の職業的意義など）、家族と教育の関係（家庭での子育てや保護者の意識が子供に及ぼす影響）、仕事と家族の関係（女性の就労）などに関する実証的・理論的研究。
- **これまで**：日本労働研究機構（現 労働政策研究・研修機構）研究員、東京大学社会科学研究所助教授等を経て現職。
- **学部担当授業**：日本社会の変容と課題、教育社会学理論演習
- **大学院担当授業**：現代日本の教育・仕事・家族、教育社会学の研究課題
- **主著**：『教育は何を評価してきたのか』（岩波新書）、『社会を結びなおす』（岩波ブックレット）、『もじれる社会』（ちくま新書）、『教育の職業的意義』（ちくま新書）、『学校の「空気」』（岩波書店）、『軋む社会』（双風舎）、『「家庭教育」の隘路』（勁草書房）、『多元化する「能力」と日本社会』（NTT出版）、『若者と仕事』（東京大学出版会）、『日本のオルタナティブ』（共著、岩波書店）、『カリキュラム・イノベーション』（共著、東京大学出版会）、『文系大学教育は仕事の役に立つのか』（編著、ナカニシヤ出版）、『現代社会論』（編著、有斐閣）、『労働再審① 転換期の労働と「能力」』（大月書店、編著）、『大卒就職の社会学』（共編著、東京大学出版会）、『若者の労働と生活世界』（大月書店、編著）『「ニート」って言うな!』（共著、光文社新書）など



橋本 鉦市



- **研究分野**：専門職養成に関する研究、大学の組織・制度論的研究、高等教育の政策形成・決定過程分析、高等教育研究史、教育「界」の歴史社会学研究。
- **学部担当授業**：「高等教育概論」、教育社会科学演習（「高等教育の社会学」）
- **大学院担当講義**：「高等教育の社会学Ⅰ・Ⅱ」
- **これまで**：学位授与機構 審査研究部 助教授、大学評価・学位授与機構 学位審査研究部 助教授、東北大学大学院教育学研究科教育政策科学コース（教育社会学講座）助教授から現職
- **主著**：『よくわかる高等教育』（共編、近刊、ミネルヴァ書房）、『戦後日本における女子大学の組織アイデンティティ（「高等教育研究叢書」第153巻）』（編著、2020、広島大学高等教育研究開発センター）『専門職の質保証—初期研修をめぐるポリティクス』（編著、2019、玉川大学出版部）、『専門職の報酬と職域』（編著、2015、玉川大学出版部）、『高等教育の社会学』（共監訳、2015、玉川大学出版部）、『高等教育の政策過程』（2014、玉川大学出版部）、『リーディングス 日本の高等教育』全8巻（共編、2010～11、玉川大学出版部）、『大学生—キャンパスの生態史』（編著、2010、玉川大学出版部）、『専門職養成の日本的構造』（編著、2009、玉川大学出版部）、『航行をはじめた専門職大学院』（共著、2010、東信堂）、『専門職養成の政策過程』（2008、学術出版会）、等。

中村高康

- **研究分野**：教育社会学・比較教育システム論

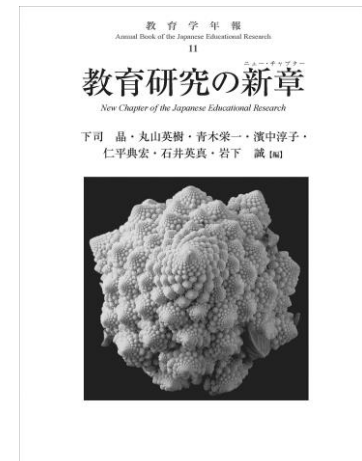
戦後日本の教育と選抜の変容に関する研究、教育制度と社会階層に関する計量的研究、高校生の進路に関する量・質混合調査、教育システムの日韓比較、メリトクラシーに関する理論研究

- **これまで**：東大大学大学院教育学研究科助手、群馬大学教育学部助教授、大阪大学大学院人間科学研究科（教育社会学研究分野）准教授から現職

- **主著**：『暴走する能力主義』（著、2018年、ちくま新書）『教育と社会階層』（共編著、2018年、東大出版会）、『学歴・競争・人生』（共著、2012年、日本図書センター）『大衆化とメリトクラシー』（著、2011年、東京大学出版会）、『進路選択の過程と構造』（編著、2010年、ミネルヴァ書房）など

- **担当授業**：「新書で考える教育と社会」（駒場全学自由研究ゼミ）
「教育社会学概論」（学部）
「教育社会学の諸概念」「教育と選抜の諸問題」（院）

仁平典宏



- **研究分野**：教育社会学・福祉社会学・市民社会論（社会保障と教育システムとの関係、日本型市民社会の系譜学及び機能分析）
- **これまで**：法政大学社会学部准教授を経て2014年4月から現職。
- **著書**：『「ボランティア」の誕生と終焉——〈贈与のパラドックス〉の知識社会学』（単著、2011、名古屋大学出版会）、『共生社会の再構築Ⅱ デモクラシーと境界線の再定位』（共編著、2019、法律文化社）、『平成史【完全版】』（分担執筆、2019、河出書房新社）、『労働再審〈5〉 ケア・協働・アンパイドワーク——揺らぐ労働の輪郭』（共編著、2011、大月書店）、『若者と貧困』（共編著、2009、明石書店）、など。
- **担当授業**：学部「教育社会学調査実習Ⅰ～Ⅳ」
大学院「教育言説の社会学」「市民社会・国家・教育」

額賀美紗子

- **研究分野**：教育社会学・比較教育学・国際社会学
 - 移民/外国人の子どもたちの学力とアイデンティティ形成
 - トランスナショナリズムと国際移動する家族の教育戦略
 - 多文化教育、シティズンシップ教育、移民統合の国際比較研究
- **これまで**：カリフォルニア大学ロサンゼルス校Ph.D.（社会学）
和光大学准教授を経て2017年4月から現職。
- **主著**：『移民から教育を考える』（共編著、2019年、ナカニシヤ出版）、
『越境する日本人家族と教育ー「グローバル型能力」育成の葛藤』（単著、
2013年、勁草書房）、『現代エスノグラフィー：新しいフィールドワークの理
論と実践』（分担執筆、2013年、新曜社）、*Minorities and
Multiculturalism in Japanese Education*（分担執筆、2011年、Routledge
Falmer）
- **担当授業**：学部：「比較教育学概論」「フィールドワークの理論と実践」
大学院：「グローバル時代の国際移動と教育」「質的方法論研究Ⅱ」

留意点

教育学研究科
比較教育社会学
コースへ
お待ちしております